



CENTURY

SWISS

INTERNATIONAL WARRANTY
AND INSTRUCTIONS

■ 国際保証書

この度は、CENTURYの時計をお買い上げ頂き誠にありがとうございました。無限の時を刻み続けるCENTURYを末永くご愛用下さい。

CENTURYはご購入日より3年間の国際保証を設定しております。但し、CENTURY特約店名及び、ご購入日が正しく記載されていない場合は、保証対象外となりますので、予めご了承くださいますようお願い申し上げます。

(保証は、品質保証に関する法律に準拠します。)

保証は、材質欠陥及び製造欠陥を対象とします。

以下の故障は保証対象外です：

- 電池ならびに皮革バンド。
- 外装の傷、ご使用による消耗、不注意による損傷、操作ミスを原因とする故障、CENTURY サービスセンターあるいは、公認の特約店以外による不当なサービスや修理を原因とする故障。
- 紛失及び盗難。
- 前記を原因とする故障・損傷。

保証対象となる故障、損傷が発生した場合、Century Time Gems Ltd.が無償修理する、あるいは当社の判断で交換させていただきます。

保証が適応される故障が生じた場合、運搬中に損傷のないように梱包の上、CENTURYサービスセンターに送付いただくか、お買い上げのCENTURY特約店に修理をご依頼ください。保証対象の修理には、必ず必要事項が正しく記載された保証書が必要です。

※ 時計を発送する際には、お客様自身で保険をお掛けいただくことをお勧めします。

■ CENTURY 時計のお手入れに関して

1. 時計が汚れたら、ぬるめの石鹼水で時計を洗浄して下さい。
洗浄後は、水道水で石鹼が時計に残らないよう十分にすすいで下さい。
2. ベンジンやエーテルなどの有機溶媒のご使用は、避けて下さい。パッキンが破損し、内部故障につながります。
3. ご使用時には、リューズが「0」の位置にカチッとハマっているか確認して下さい。しっかりとはまっていない場合、リューズ自体の故障や、水・埃が時計内部に侵入し故障の原因となります。
4. CENTURY の時計は、再結晶サファイアでできており、モース硬度9という非常に硬い素材でつくられておりますが、ダイヤモンドまたは同じ硬度を持つもの（当社製品、サファイアやルビーの指輪など）との接触、激しい衝撃（床等への落下、鋭利な刃物での衝撃）を与えますと傷や亀裂が生じる場合がございますのでご注意ください。
5. 振動やショックがかかるような作業時の着用は、お控え下さい。

6. 皮革バンドは、汗やホコリを嫌います。ご使用後は、こまめにタオルなどの乾いた柔らかい布でよく拭き取り、十分に乾燥させます。また、汗の付着を防ぐため、少しゆるめの着用をお勧めします。
7. 極度な高温（直射日光、40℃以上）・低温（-20℃以下）の場所は避けて下さい。また、クォーツ時計は、磁気との接触を避けるため、次のような製品のそばには置かないで下さい。（テレビ・パソコン・携帯電話・磁気付のアクセサリー・磁気マット・磁気枕等）
8. 時計を使用しない場合、安全な乾燥した涼しい場所に保管してください（15℃～20℃）。

■ 長くご愛用いただくための注意点：

1. 時計の性能を正常に保つため、3年に一度くらいの点検をお勧めします。
2. 電池が切れたら、直ぐに電池を交換して下さい。切れた電池を入れたままにしておくと電池の液漏れで、時計のメカニズムが破損する恐れがあります。
3. 防水時計のパッキンは、3年に1度程度の交換をお勧めします。CENTURYサービスセンターでは、優れた防水性を保つため、電池交換の時パッキンを同時に交換します。
4. サービスや修理のご依頼は、お買い上げのCENTURY特約店あるいはCENTURYサービスセンターまでお願い致します。

CENTURYサービスセンター

〒170-0002

東京都豊島区巣鴨1-11-1 巣鴨ダイヤビル7F

TEL：03-3944-7818

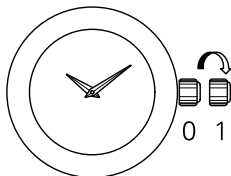
■ 取り扱い説明

2針時計の扱い方 (クォーツ、機械式手巻及び自動巻)	8
2針または3針、カレンダー有りまたは無しの時計 の扱い方 (クォーツ、機械式手巻及び自動巻)	9
クロノグラフの扱い方	11
ムーンフェイスの扱い方	16
プッシュピースを用いた時計の扱い方	17

■ 2針時計の扱い方

(クォーツ、機械式手巻及び自動巻)

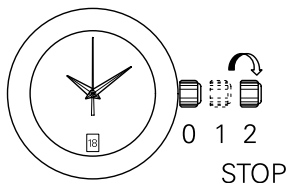
時刻の設定：リューズを「1」の位置に引き出します。リューズを手前もしくは奥に回して正しい時刻に合わせます。時刻の設定を終えたら、リューズを「0」の位置まで戻してください。機械式時計の場合は、リューズが「0」の位置でゼンマイを手で巻くことができます。



■ 2針または3針、カレンダー有りまたは無しの時計の扱い方
(クォーツ、機械式手巻及び自動巻)

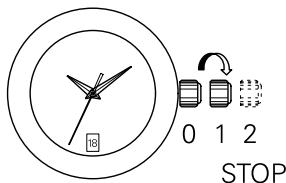
時刻の設定：秒針がちょうど12時を指した時にリューズを「2」の位置まで引き出します。これで時計が完全に停止します。そのままの状態、リューズを手前もしくは奥に回して針を動かし、時刻を設定します。公的な時報などを参考にして、設定時刻になった瞬間にリューズを「0」の位置に押し込めば、針を正確な時刻に合わせることができます。

機械式時計の場合は、リューズが「0」の位置でゼンマイを手で巻くことができます。



日付の設定：リ्यूズを「1」の位置に引き出し、時計回りか逆に回して日付を合わせます。

ご注意：の操作に起因する故障に関しては、センチュリーは、いっさいの補償をいたしませんので、あらかじめご了承ください。また、日付が時刻に合わせて正しく変わるように、午前と午後の区別にもご注意ください。設定を終えたら、リ्यूズを「0」の位置に戻してください。



■ クロノグラフの扱い方

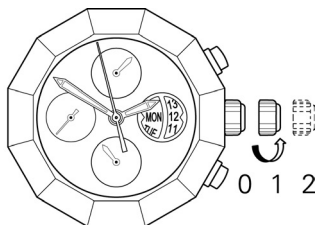
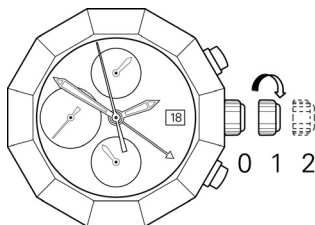
時刻の設定：秒針がちょうど12時を指した時にリュースを「2」の位置まで引き出します。これで時計が完全に停止します。そのままの状態、リュースを手前もしくは奥に回して針を動かし、時刻を設定します。公的な時報などを参考にして、設定時刻になった瞬間にリュースを「0」の位置に押し込めば、針を正確な時刻に合わせることができます。

機械式時計の場合は、リュースが「0」の位置でゼンマイを手で巻くことができます。

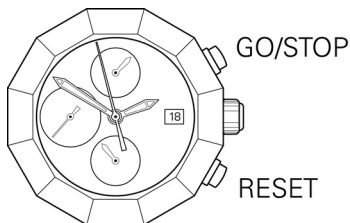
日付の設定：リュースを「1」の位置に引き出し、奥に回して日付を合わせます。**ご注意：**時計の針が22時（午後10時）から午前2時の間を指している場合は、日付の設定を行わないでください。この時間帯は日付の変更機構が時刻表示の歯車にかみ合っているため、日付を調整すると歯車が損傷します。この操作に起因する故障に関しては、センチューリーは、いっさいの保証をいたしませんので、あらかじめご了承ください。また、日付が時刻に合わせて正しく変わるように、午前と午後の区別にもご注意ください。設定を終えたら、リュースを「0」の位置に戻してください。

日付と曜日の設定 (Day&Date) : リューズを「1」の位置に引き出し、奥に回せば日付が変わり、手前に回せば曜日が変わります。正しい日付や曜日が窓に表示されるまでリューズを回してください。設定を終えたら、リューズを「0」の位置に戻してください。

第二時間帯の設定 (GMT機能) : リューズを「1」の位置に引き出し、手前に回して希望する第二時間帯に針を合わせます。設定を終えたら、リューズを「0」の位置に戻してください。



クロノグラフ機能の使い方：2時の位置にあるボタンを押すと（GO/STOP）、クロノグラフ機能が作動して計測を始めます。もう一度ボタンを押すと、機能が停止して計測が終了します。計測した時間は、文字盤のセンターに置かれた秒針によって秒、積算計によって分と時間がそれぞれ表示されます。針をすべて0に戻し、クロノグラフ機能をリセットするには、4時の位置のボタンを押します（RESET）。これで、次の新しい計測ができるようになります。



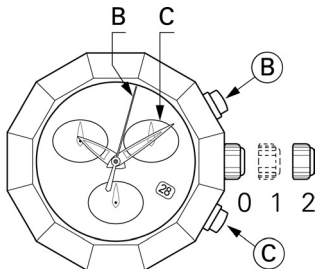
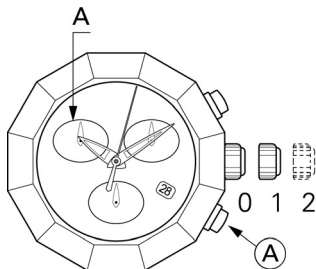
クォーツ・クロノグラフの針のずれを修正する方法：クロノグラフをリセットしても、針が元の位置（目盛り0の位置）からずれている場合は、次のように手で直すことができます。

30分計：リューズを「1」の位置に引き出し、4時の位置のボタンを押して針を修正します (A)。

60秒針：リューズを「2」の位置に引き出し、4時の位置のボタンを押して針を修正します (B)。

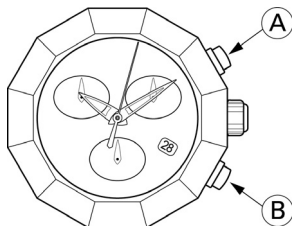
1/10秒計：リューズを「2」の位置に引き出し、4時の位置のボタンを押して針を修正します (C)。

針を元の位置に合わせたら、リューズを「0」の位置に戻してください。



ウォッチ・ムーブメントの「スプリットセコンド・クロノグラフ」機能の使い方：この機能を使えば、クロノグラフを作動させながら、計測の途中で針を止め、中間タイムを読み取ることができます。読み取りを終えたら、針は計測中の時間へと追いつき、再び計測を続けます。操作は以下の手順で行います。

- A) スタート：ボタンを押して計測開始
- B) ボタンを押して、1回目の中間タイムの読み取り
- B) もう一度押すと、針が計測中の時間へと追いつきます
- B) ボタンを押して、2回目の中間タイムの読み取り
- B) もう一度押すと、針が計測中の時間へと追いつきます
- A) ストップ：ボタンを押して計測の終了。これまでの全経過間の読み取れます。
- B) リセット：針がすべてゼロに戻ります。



■ ムーンフェイスの扱い方

時刻の設定

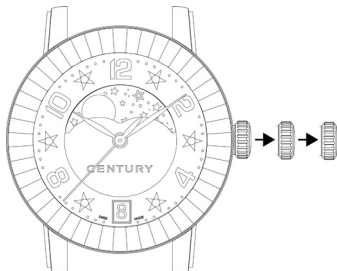
リューズを「2」の位置に引き出し、正しい時刻が表示されるまで時計回りに回します。設定を終えたら、リューズを「0」の位置に戻してください。

ムーンフェイズの設定

リューズを「2」の位置に引き出し、正しいムーンフェイズが表示されるまで時計回りに回します。設定を終えたら、リューズを「0」の位置に戻してください。

日付の設定

リューズを「1」の位置に引き出し、正しい日付が表示されるまで回します。日付の設定を終えたら、リューズを「0」の位置に戻してください。
ご注意:31日未満の月は月末に日付の修正を行う必要があります。



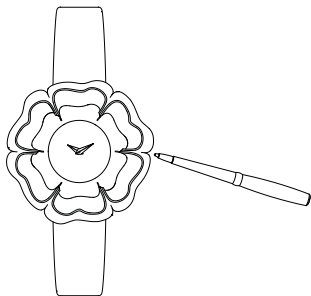
■ プッシュピースを用いた時計の扱い方

クォーツ ムーブメント

(2針時計): プッシュピースを用いた時刻の設定方法

時刻の設定の際には、ケース側面にあるコレクターボタンを付属のプッシュピースで押して頂くことにより時刻設定が可能です。

センチュリー付属外のプッシュピースで時刻設定をした際の故障については一切の責任は致し兼ねますのでご了承ください。



時刻の設定

一回 (2秒弱) 押す: 時計は1分ずつ進みます

2秒から4秒押し続ける: 分針が1回転して1時間進みます

4秒以上押し続ける: 時計と分針はプッシュピースを離すまで進み続けます。

